

「万膳小学校の万膳太鼓踊り伝承活動の取組」

1 学校名

霧島市立万膳小学校

2 学年・人数

小学生：3年生2人，5年生2人，6年生1人（計5人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

万膳小学校体育館（7～9月）

(2) 発表の日時・場所

ア 9月26日 万膳小学校・万膳校区合同秋季大運動会（規模縮小）

イ 元日 八幡神社・万膳祭り（今年度は祭が中止）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事，伝統工芸品について

(1) 名称

万膳太鼓踊り（まんぜんたいこおどり）

(2) 由来

島津義弘の凱旋祝い，義弘に従軍し，その戦いで戦没した兵士の供養のため，踊り始めたともいわれている。昭和15・16年頃まで，毎年盆や干ばつの折，あるいは神社祭典や大きな行事の時に必ず踊りを披露していたが，太平洋戦争以来中断していた。しかし，保存会員や校区民の尽力により昭和23年に復活した。

これまで，以下の行事等で披露している。

平成元年，校舎落成祝賀会

平成4年，万膳道路開通祝賀会

平成8年，県PTA活動研究委嘱公開（牧園大会）

(3) 構成等

本来は，鐘打ち4人・太鼓打ち16人・ホタ振り2人，計22人で隊形を組み，太鼓や鐘を打ちながら踊る。現在は踊り手も少なくなり，装備も簡素化された。後継者育成や正規の人数で踊れるように踊り手の募集に努力している。

5 保存会や地域との連携の具体

太鼓踊り保存会は，首藤道男会長を中心に約10人で構成されている。一方，万膳太鼓踊り少年団は小・中学生の中から希望者を募り，現在5人で精一杯少年団活動を展開している。少年団員は保存会の温かく丁寧な指導のもと，日々，伝承活動に励み，その成果を小学校・万膳校区合同運動会や万膳祭りで披露している。

本年も3～6年生の中から5人が参加し，運動会に向けて練習に励んできた。運動会当日は，校庭中に「キャンキャン（鐘の音），ゴーゴー（太鼓の音）」の勇ましい音が響き渡った。コロナ禍での披露ではあったが，それを吹き飛ばすほど勇壮で，地域住民を喜ばせていた。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

- (1) 万膳小学校に事務局を置き、練習日程の調整、会計事務等を行っている。加えて、万膳太鼓踊り保存会との連携を図ったり、万膳太鼓踊り少年団の募集も行ったりしている。
- (2) 毎年、運動会で披露しているので、夏休みの後半から練習に入っている。週1回、夕方の涼しい時に1時間程度、保存会員の指導のもと、練習に励んでいる。※今年度夏休み中の練習は中止。
- (3) 保存会員及び少年団の数も年々減少傾向にある。後継者を育て、活動を続けるためにも団員がもっと必要なので、機会があるごとに未加入の子どもたちに入団の声かけをしている。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）

万膳小学校・万膳地区合同運動会、万膳祭りの様子



運動会の様子①



運動会の様子②



万膳祭り(八幡神社)での奉納①



万膳祭り(八幡神社)での奉納②

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【児童の感想】

- 暑い中、体育館で太鼓踊りの踊り方を教えてもらいました。運動会でしっかりと発表できて良かったです。伝統ある踊りなので来年もがんばって参加したいです。
- 万膳踊りを覚えるのは大変だったけど、みんなに教えてもらえて良かったです。校区の皆さんの前で踊りを見せることができ本当によかったと思いました。

【保存会から】

児童生徒の数が減少してきている。また、保存会の会員も年々高齢化によって参加が減ってきている現状である。昔のように多くの人に参加し、この万膳太鼓踊りを本来の形に近いもので踊ることができたらと願う。